

プロジェクトファシリテーション能力向上研修（4119134）

プロジェクト活動や会議における調整・推進の役割を理解し、今まで気づかなかった事例・情報・スキルを学びます。伸び悩み期、キャリアアップ期のSEの方必見。

開催日時	2019年11月6日(水) 10:00-17:00
カテゴリー	業務遂行スキル ヒューマンスキル
講師	足立英治 氏 (株式会社フォース・トランキル 代表取締役) 1978年日本ユニシスに入社、生産管理システムの開発等に従事、その後食品原材料メーカーに転職、購買、営業、人事、情報システム、経営企画、総務等のマネージャーを経験。1997年独立。国産ERPメーカーで、プロジェクトマネージャー、業務コンサルタントとして活動をおこなうかたわら、人事コンサルタントとして、人事制度、人事評価制度、人材育成体系の再構築を、上場製造業、SI等でコンサルティング活動に従事、研修講師としては、リーダシップ、ファシリテーション、プレゼンテーション等の研修で、上場企業から、中小企業まで、300社以上での実施経験を有する。
参加費	J U A S 会員/ITC : 33,000円 一般 : 42,000円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (日本橋堀留町2丁目ビル2階)
対象	若手SEの方 初級
開催形式	講義、グループ演習
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
ITCA認定時間	6

主な内容

<<参加者の声 >>

- ・非常にわかりやすく、明日からでも実践を心がけようと思った。
- ・実践を何度も行うことで改善しながらファシリテータの役割を確認することができた。
- ・演習が面白い、要点が分かりやすい。
- ・現在プロジェクトに参画しているので、自分の状況と照らし合わせることができた。
- ・リーダー＝ファシリテータでなくても良いというのが気づきでした。中立な立場の人が会議にいる必要性を感じました。
- ・プロジェクトファシリテーションで心掛けるべきポイントがまとまっていた。
- ・ファシリテーションを実践的に学習できた。また、演習を通じて、体で覚えることができた。

プロジェクト活動の、成否を大きく左右するのが、メンバー間のコミュニケーションと、プロジェクトチームのチーム力です。多くのプロジェクト活動が、プロジェクトマネージャーのマネジメント能力・リーダシップへの過度の期待によって失敗しています。このような事態を未然に回避するには、メンバー間の相乗効果と、自律性を高めるチーム作りやプロジェクトマネージャーとは別に、プロジェクトあるいはプロジェクト会議を進行するファシリテータを配置することが有効とされています。

本セミナーでは、プロジェクト活動、プロジェクト会議における、ファシリテータの役割を理解し、ファシリテーションスキルを実践的に若手SEの人たちに身につけていただきます。

ケーススタディーを通して具体的、かつ実践的なノウハウを習得します。

また、情報システム部門マネージャー、ベンダープロジェクトマネージャー、業務改革コンサルタントの経験を有する講師より、失敗・成功事例も数多くご紹介します。

若手SEとして、要求定義・システム開発・業務改革等のプロジェクト活動で活躍されている方、必見の講座です。

<<本セミナーの期待成果>>

1. プロジェクトチームの、チーム力向上の方法を学ぶ。
2. プロジェクトチーム活動の効率化・活性化・創造化力向上のための、3つの視点を理解し、各視点で、何を実行すべきかを学ぶ。
3. ファシリテーションと、リーダーシップに関して理解し、プロジェクトチームでの活用方法を理解する。
4. プロジェクト会議の効率的で、ロジカルで、創造的な進行と、活性化されたチーム作りの方法について実践的に習得する。

<<プロジェクト会議に次のような症状がある場合、本セミナーの受講によりこれら症状が改善されます！>>

- ・偏った人だけが発言して、会議で意見を言わない人が多い。
- ・会議で意見は出るが、争点が絞れない。
- ・話し合いのフレームを考えるだけで、1日浪費してしまう。
- ・多くのアイデアは、出るが解決策を絞り込み決定することができない。
- ・出席メンバーの、問題意識、当事者意識に差がある。
- ・会議で決まったことが、実行されない。
- ・会議時間が、常に延長される。
- ・プロジェクトで事務局の役割が見えない。

<<内容>>

(1) オリエンテーション

(2) 強いチーム

コンセンサスゲームを使って、強いチームを創るためのファシリテータの役割を理解する。

(3) ファシリテータの基本行動

プロジェクト立上げ、計画実施、変更管理、評価の各ステップでのプロジェクトファシリテーションを行うためのファシリテータの基本行動を双方向講義で明確にする。

(4) プロジェクトキックオフ会議のプロセスデザイン

ケースによりプロジェクトキックオフ会議準備を通じて、プロセスデザインを実践的に習得する。

(5) プロセス観察と介入のスキル

会議におけるファシリテーションの基本行動（質問のスキル、記録のスキル、介入のスキル）を双方向講義とロールプレー実習で習得する。

(6) 相互啓発と介入のスキル

会議の問題行動への対処をロールプレー実習で習得する。

※状況によって内容・進め方を変更する場合があります。